

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	就労学習型放課後等ディサービス Reno wellness kids 大泉太田教室		
○保護者評価実施期間	7年 12月 9日 ～ 7年 12月 23日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	15
○従業者評価実施期間	7年 12月 9日 ～ 7年 12月 23日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	7年 12月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置人数は他の事業所よりも多く配置されていると思われます。	その日にご利用されるお子様の障害特性などを職員間で共有し、配置(個別対応など)を決めている。	全体を把握する力や、細かい部分に気づく力を養うため日々、職員の配置を替えている。毎日ミーティングを行い情報共有しながら支援の行う。
2	活動内容を毎日変えている。	プログラムの内容によってはお子様には難しいと思われることもあるので、楽しく出来るように内容を工夫している。	繰り返し行うことで身につくことがあるので、訓練的に活動していく。
3	理学療法士を配置している。専門的支援として、理学療法士がプログラムを作成し活動に取り入れている。	活動内容に理学療法士の意見を取り入れながら、個別対応の強化している。	専門性を職員間で共有し、知識と対応力の充実を図っている。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーでない箇所がある。	身体障害児への対応が難しい。事業所の建物自体の改修が難しい。	外部の研修等の参加や障害特性などの理解が必要である。
2	家族とのやり取りが不足している。	送迎時の時間だけでは家族との連絡調整などのコミュニケーションが不足している。	家族との交流の場を提供し、個別相談会などの機会を増やしていく。
3	家庭内事情を踏まえた家族支援や個別の対応が足りないと思われる。	どこまで家庭内に入り込んで良いのかが一番の課題であると思います。	事業所のみならず、他の協力機関など連携し支援していく必要がある。